② 平成23年度交付分

（単位：円）

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	49,565,750,881	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：49,565,750,881 イ）固定資産の取得額：1,320,109,614 ③運営費交付金の振替額の積算根拠 ア）業務のための支出額を限度として振替 イ）支出の内訳：人件費（役職員人件費等）、業務費（研究機器等購入費、消耗品費等）等
	資産見返運営費交付金	1,320,109,614	
	資本剰余金	—	
	計	50,885,860,495	
会計基準第81第３項による振替額		—	
合計		50,885,860,495	

⑶ 運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成22年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	—	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務である。
	計	—	
平成23年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	19,101,692,505	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務である。 ○運営費交付金債務残高は、履行期日が翌事業年度以降となる契約等を繰り越したものであり、平成23年度３次補正予算（東日本大震災復旧・復興費）を含む。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降において収益化する予定である。
	計	19,101,692,505	